

自宅にこもりがちな高齢者や生活困窮者の社会参加につなげようと、鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」が、懐かしい歌謡曲などをみんなで歌う「うたごえ広場」を始めた。徳島市で同広場を開いているボランティア団体

鳴門市自立支援センター

の協力を得て企画し、23日に鳴門市で初めて実施。今後は2カ月に1回催し、交流の輪を広げたい考えだ。

「よりそい」は、仕事や生活に関する不安や悩み事を聞き、支援制度や資金貸与制度を紹介するなど、自立した生活への支援を行っている。ただ、経済的に自立しても「居場所がない」「時間を持て余している」という利用者も目立つ。「人とのつながりをつくっておかないとまた生活困窮になりかねない」との懸念があり、楽しい雰囲気で行っている「うたごえ広場」に

23日は鳴門市撫養町の渦潮ふれあい館で開き、市内外から約30人が参加した。徳島市のボランティア友の会ひまわりの前田すづ子会長(67)が、曲のエピソードや自身の経験談を交えながら司会を担当。参加者はボランティアのピアノ演奏に合わせて、歌詞カードを見ながら計25曲を歌った。

高齢者らの社会参加へ初開催

うたごえ広場で交流を

着目した。

参加した玉井公子さん(80)

「よりそい」は「生活に悩みを抱えた人たちが気軽に來て、困った事を相談できる場にしていきたい」としている。
(大城咲)



うたごえ広場で歌謡曲や童謡を歌う参加者
＝鳴門市撫養町の渦潮ふれあい館